



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月28日

上場会社名 日清食品ホールディングス株式会社

上場取引所 東 大

コード番号 2897 URL <http://www.nissinfoods-holdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長・CEO (氏名) 安藤 宏基

問合せ先責任者 (役職名) 取締役・CFO (氏名) 横山 之雄

TEL 03-3205-5111

四半期報告書提出予定日 平成23年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	91,104	2.2	9,832	0.2	10,787	△2.3	9,440	31.7
23年3月期第1四半期	89,125	△1.8	9,813	23.5	11,043	7.2	7,170	8.8

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 12,270百万円 (157.1%) 23年3月期第1四半期 4,771百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	85.31	85.15
23年3月期第1四半期	64.80	64.73

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	410,589	286,239	68.2
23年3月期	409,748	277,595	66.3

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 279,906百万円 23年3月期 271,654百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		40.00	—	35.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期の中間配当金には、「カップヌードル発売40周年記念配当」5円を含んでおります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	187,500	6.6	10,000	△30.5	12,000	△21.4	10,400	9.2	93.97
通期	395,000	5.4	26,000	△24.7	28,000	△23.1	21,000	1.2	198.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、【添付資料】P. 3（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期1Q	117,463,685 株	23年3月期	117,463,685 株
24年3月期1Q	6,791,886 株	23年3月期	6,795,554 株
24年3月期1Q	110,669,289 株	23年3月期1Q	110,656,268 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3（連結業績予想に関する定性的情報）をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の影響によって被害を受けた生産・物流拠点の復旧・復興の遅れや、電力供給不足問題などから、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループの中核事業である即席めん業界においては、国内では、震災により流通在庫が減少し、一時的に需要が増加したものの、世界的に小麦粉、パーム油を中心とした原材料価格が上昇するなど厳しい環境にありました。

このような経営環境下、当社グループでは、引続き多様化する消費者ニーズに対応した商品開発を行うとともに、当社の強みである技術力を発揮し、当社のブランド価値向上に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績における売上高は、前年同期比2.2%増の911億4百万円となりました。利益面においては、営業利益は、前年同期比0.2%増の98億32百万円となりました。経常利益は、営業外損益が前年同期に比べ2億74百万円減少したことにより、前年同期比2.3%減の107億87百万円となりました。また、当四半期純利益は、厚生年金基金代行返上益を特別利益に計上したことにより、前年同期比31.7%増の94億40百万円となりました。

<連結業績>

(単位：百万円)

区分	平成23年3月期	平成24年3月期	対前年同期比	
	自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日	自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日	金額	%
売上高	89,125	91,104	+1,979	+2.2
営業利益	9,813	9,832	+18	+0.2
経常利益	11,043	10,787	△256	△2.3
四半期純利益	7,170	9,440	+2,270	+31.7

報告セグメント別の業績の概況は、以下のとおりです。

①日清食品

当第1四半期の販売状況は、東日本大震災の影響による資材の調達懸念により、小売店での特売等販売促進を控えたことから、袋めんの売上はやや減少したものの、今年、発売40周年を迎える「カップヌードル」、35周年を迎える「日清のどん兵衛」「日清焼そば U.F.O.」や新「日清ラ王」などカップめん類が好調に推移し、全体では増収となりました。

この結果、報告セグメントにおける日清食品の売上高は、前年同期比1.9%増の448億30百万円となり、セグメント利益は、前年同期比14.6%増の63億46百万円となりました。

②明星食品

当第1四半期の販売状況は、震災の影響により一部新商品の発売を延期し、既存主力商品を中心とした販売となりました。昨年のリニューアル以降「明星 チャルメラ」が好調に推移し、「明星 中華三昧」も売上を伸ばすなど袋めん類が好調となりました。また、カップめん類においては、「明星 一平ちゃん」シリーズが好調に推移し、全体では増収となりました。

この結果、報告セグメントにおける明星食品の売上高は、前年同期比0.8%増の105億7百万円となり、セグメント利益は、前年同期比16.4%増の12億74百万円となりました。

③低温事業

当第1四半期の低温事業について、日清食品チルド(粥)の販売状況は、冷たい中華めんを冷たいコクのあるつけだれで食べる「冷や冷やつけ麺」シリーズや、当社グループ明星食品のロングセラーブランド「中華三昧」のおいしさを冷やしジャンルで再現したチルド冷し中華「中華三昧 醤油だれ冷し中華」「同 ごまだれ冷し中華」が人気を博したほか、定番商品の「中華風涼麺」や「ごまだれ涼麺」など冷やし商品が好調に推移しました。

日清食品冷凍(粥)の販売状況は、冷凍めんのすべてのジャンルに商品を展開することと、それぞれのプライスゾーンに応じた商品を展開するという戦略のもと、消費者のちょっとした贅沢感を味わいたいというニーズに応えた中価格帯の「冷凍 日清スパ王プレミアム」シリーズ、具付きラーメン「冷凍 日清のラーメン屋さんプラス」シリーズが前期に引続き順調な売れ行きとなり、全体を引き上げました。特に冷凍スパゲティ群では、人気イタリアンシェフ川越達也氏監修による「冷凍 日清スパ王シェフズプレミアム」シリーズなど高価格帯も好調に推移しました。

この結果、報告セグメントにおける低温事業の売上高は、前年同期比4.7%増の132億35百万円となり、セグメント利益は、前年同期比17.1%減の6億29百万円となりました。

④米州地域

米州地域は、米国において「Top Ramen」や「Bowl Noodles」が堅調に推移しましたが、「CHOW MEIN」が苦戦しました。また、為替の影響も大きく受けたため、減収となりました。

この結果、報告セグメントにおける米州地域の売上高は、前年同期比12.2%減の63億35百万円となり、セグメント利益は、売上高の減少及び原材料コストの増加により、前年同期比78.4%減の1億36百万円となりました。

⑤中国地域

中国地域は、「合味道」「開杯楽」や「U.F.O.」等のカップめんの販売が好調に推移し、増収となりました。

この結果、報告セグメントにおける中国地域の売上高は、前年同期比8.8%増の49億8百万円となりましたが、セグメント利益は、原材料価格の高騰や、積極的な販売促進などによるコスト増により、前年同期比43.9%減の2億66百万円となりました。

また、報告セグメントに含まれない事業セグメントについて、国内の菓子事業、飲料事業、外食事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んだ「その他」の売上高は前年同期比9.1%増の112億86百万円となり、セグメント利益は前年同期比89.9%増の10億12百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は次のとおりです。

(資産の部)

資産は、前連結会計年度末に比べ8億40百万円増加し、4,105億89百万円となりました。これは主に売上債権等の減少により流動資産が37億66百万円減少する一方、設備投資や投資有価証券の増加により固定資産が46億6百万円増加したことによるものです。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ78億3百万円減少し、1,243億49百万円となりました。これは主に退職給付引当金が63億53百万円減少したことによるものです。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べ86億43百万円増加し、2,862億39百万円となりました。これは主に利益剰余金及び為替換算調整勘定の増加によるものです。

この結果、自己資本比率は68.2%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の連結業績は、概ね予想通りに推移しており、平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年5月11日に発表しました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想から変更は行っておりません。

なお、今後、業績に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成23年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	56,651	54,409
受取手形及び売掛金	47,125	40,939
有価証券	16,841	16,511
商品及び製品	6,845	11,317
原材料及び貯蔵品	7,448	7,603
その他	9,460	9,823
貸倒引当金	△246	△244
流動資産合計	144,127	140,360
固定資産		
有形固定資産		
土地	49,542	49,503
その他（純額）	76,339	78,660
有形固定資産合計	125,882	128,164
無形固定資産		
のれん	3,399	3,211
その他	1,065	1,056
無形固定資産合計	4,465	4,267
投資その他の資産		
投資有価証券	115,927	118,031
その他	19,693	20,103
貸倒引当金	△346	△338
投資その他の資産合計	135,274	137,796
固定資産合計	265,621	270,228
資産合計	409,748	410,589
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,422	42,751
短期借入金	1,692	1,592
未払金	19,676	17,054
未払法人税等	7,268	6,181
その他	17,595	18,832
流動負債合計	87,655	86,412
固定負債		
長期借入金	12,980	12,659
退職給付引当金	16,318	9,965
その他	15,199	15,313
固定負債合計	44,498	37,937
負債合計	132,153	124,349

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成23年 6 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	25, 122	25, 122
資本剰余金	48, 416	48, 416
利益剰余金	236, 831	242, 398
自己株式	△20, 393	△20, 382
株主資本合計	289, 976	295, 554
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	380	△22
土地再評価差額金	△7, 649	△7, 649
為替換算調整勘定	△11, 053	△7, 975
その他の包括利益累計額合計	△18, 322	△15, 648
新株予約権	428	662
少数株主持分	5, 512	5, 670
純資産合計	277, 595	286, 239
負債純資産合計	409, 748	410, 589

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	89,125	91,104
売上原価	47,444	49,995
売上総利益	41,680	41,109
販売費及び一般管理費	31,866	31,277
営業利益	9,813	9,832
営業外収益		
受取利息	159	125
受取配当金	896	834
持分法による投資利益	437	—
為替差益	—	60
その他	125	104
営業外収益合計	1,618	1,124
営業外費用		
支払利息	60	65
持分法による投資損失	—	44
為替差損	226	—
その他	100	58
営業外費用合計	388	168
経常利益	11,043	10,787
特別利益		
投資有価証券売却益	848	—
厚生年金基金代行返上益	—	5,410
その他	79	153
特別利益合計	928	5,563
特別損失		
固定資産廃棄損	10	28
投資有価証券評価損	294	1
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	67	—
その他	5	1
特別損失合計	377	31
税金等調整前四半期純利益	11,594	16,320
法人税等	4,256	6,759
少数株主損益調整前四半期純利益	7,338	9,561
少数株主利益	168	120
四半期純利益	7,170	9,440

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,338	9,561
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,966	△405
為替換算調整勘定	376	843
持分法適用会社に対する持分相当額	23	2,271
その他の包括利益合計	△2,566	2,709
四半期包括利益	4,771	12,270
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,587	12,115
少数株主に係る四半期包括利益	184	155

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	43,986	10,425	12,642	7,219	4,510	78,783	10,341	89,125	—	89,125
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	238	357	125	—	93	814	3,665	4,480	△4,480	—
計	44,225	10,782	12,767	7,219	4,603	79,598	14,007	93,605	△4,480	89,125
セグメント利益	5,536	1,095	759	629	475	8,495	533	9,028	784	9,813

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業、外食事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額784百万円には、退職給付関係費用1,004百万円、のれんの償却額△187百万円、セグメント間取引消去等△32百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	44,830	10,507	13,235	6,335	4,908	79,818	11,286	91,104	—	91,104
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	217	275	143	—	16	654	4,084	4,738	△4,738	—
計	45,048	10,783	13,379	6,335	4,925	80,472	15,370	95,843	△4,738	91,104
セグメント利益	6,346	1,274	629	136	266	8,653	1,012	9,665	166	9,832

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業、外食事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額166百万円には、退職給付関係費用395百万円、のれんの償却額△187百万円、セグメント間取引消去等△41百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。